

エコアクション21環境経営レポート



2024年4月1日～2025年3月31日
2025年7月1日発行

株式会社オサダツール

目次

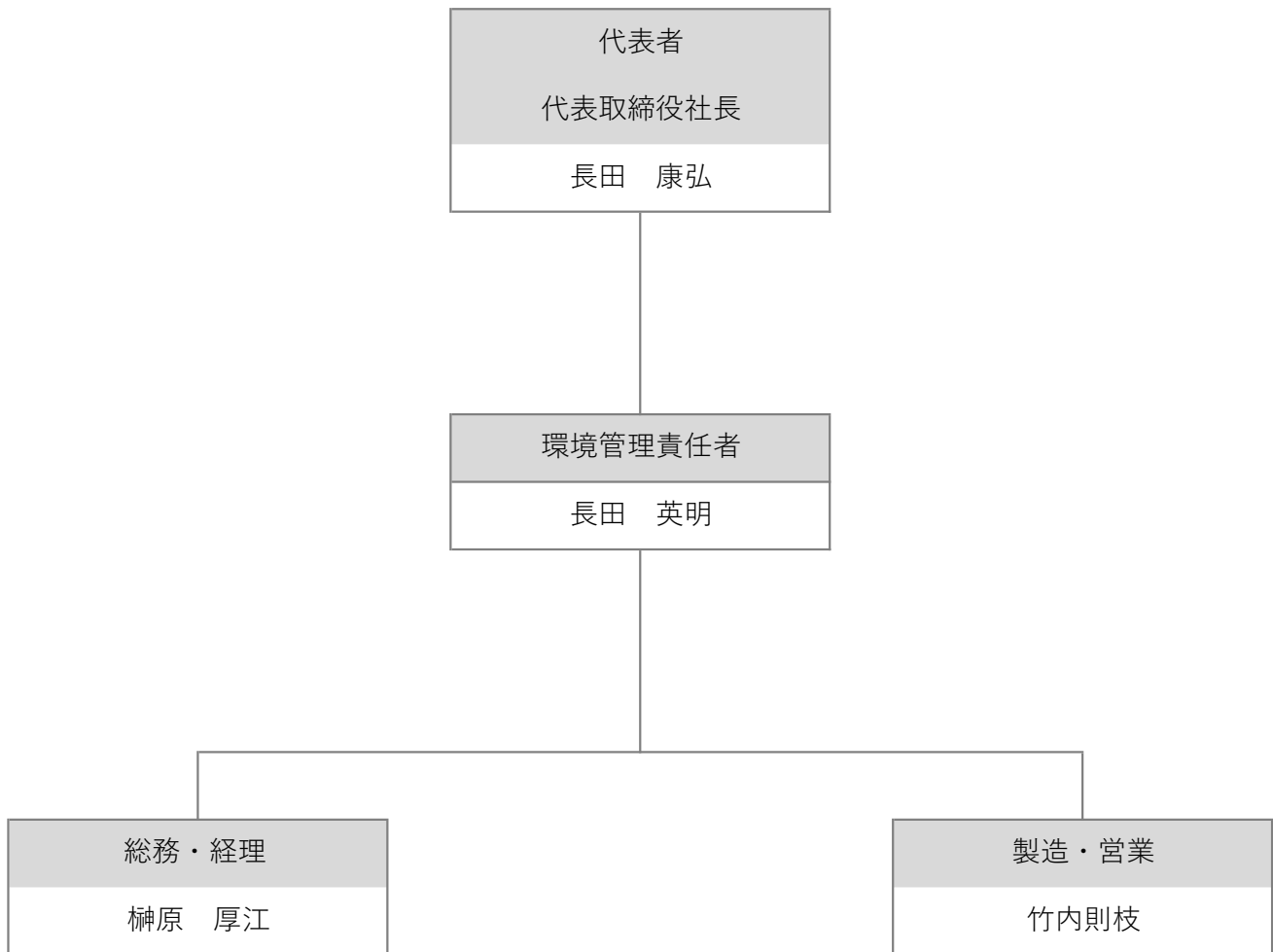
- 1 組織の概要
- 2 対象範囲
- 3 環境経営方針
- 4 環境経営目標
- 5 環境経営計画
- 6 環境経営目標に対する実績・結果
- 7 環境経営計画の結果と評価、並びに次年度の取組計画及び目標
- 8 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無
- 9 代表者による全体の評価と見直し・指示

1 組織の概要

事業所名	株式会社オサダツール		
代表者名	代表取締役社長 長田 康弘		
所在地	〒447-0844		
	愛知県碧南市港本町4番地36		
設 立	1969年	資本金	1,000万円
従業員数	40名	売上高	297百万円 (2024年度)
床面積	1057m ²		
事業内容	切削工具 (セラミック、サーメット、超硬) 刃先交換チップ製造及び販売		
環境管理責任者・担当者 連絡先	長田 英明 TEL (0566) 41-8728 FAX (0566) 42-9160		

1 組織の概要

実施体制



役割分担

社 長	<ul style="list-style-type: none">EA21に関する全てに責任と権限を持ち、環境管理責任者 を任命する。環境方針の作成。代表者による全体の評価と見直し。
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none">EA21の運営と実施及び社長への報告。環境活動レポートの作成。
各部門長	<ul style="list-style-type: none">環境管理責任者の指示に従って、部門の目標・計画を立案「環境活動計画」を実行する。
従業員	<ul style="list-style-type: none">会社の方針,部門の目標・計画に従って実行する。

2 対象範囲

認証登録範囲	全組織・全活動
対象期間	2024年4月1日～2025年3月31日
発行日	2025年7月1日

3 環境経営方針

経営方針

当社は切削工具分野の基幹産業として、切削工具の可能性を追い求め、豊かな社会作りに貢献していきます。我々人間にとって、夢あふれる時代となるべく当社の誇る全技術力をもって、今後も努力していきます。

環境理念

当社は、環境活動を経営の最重要課題の一つと位置づけ環境負荷の削減に努め、持続的発展が可能な社会の構築に貢献します。

行動指針

- 1 5S活動を推進し、環境経営システムの継続的改善に努めます。
- 2 環境配慮型商品の開発・生産および販売・普及に努めます。

工具は希少原材料を多く使用しており、循環型社会での資源枯渇への対応として、再研磨により再使用することに取り組みます。

- 3 省エネルギーの促進を図り、二酸化炭素排出量の低減に努めます。
- 4 資源の有効活用のため3Rの活動に取り組みます。
①リデュース=廃棄物を出さない ②リユース=再使用する ③リサイクル=再資源化する
- 5 水の使用量の低減に努めます。
- 6 事業活動を通じグリーン購入を促進します。
- 7 化学物質使用量の削減に努めます。
- 8 環境法令を遵守します。
- 9 全社員に、この環境方針を含む環境教育を行い、環境への意識向上に努めると共に、全社員が理解し環境改善活動を行います。
- 10 この環境方針は社外に公開します。

制定：2008年9月10日 改定：2017年7月15日

株式会社オサダツール 代表取締役社長 長田康弘

4 環境経営目標

2019年度を基準値とした。

取り組み項目	単位	基準年度	年度目標*		
		2019年度	2022	2023	2024
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	434,792	1%削減	2%削減	3%削減
			430,444	426,096	421,748
	kg-CO ₂ /千個	153	1%削減	2%削減	3%削減
			151	150	137
電力使用量の削減	kWh	958,095	1%削減	2%削減	3%削減
			948,514	938,933	929,352
ガソリン使用量の削減	ℓ	747	1%削減	2%削減	3%削減
			740	732	725
産業廃棄物の削減（廃油）	kg	17,820	1%削減	2%削減	3%削減
			17,642	17,464	17,285
水使用量の削減	m ³	1,161	1%削減	2%削減	3%削減
			1,149	1,138	1,126
化学物質使用量の削減 （PRTR対象物質無し）	kg	2,400 （切削液）	実績数値を記録し管理する		
		200 （潤滑油）			
再研磨品	社数	3	4	5	6

- ・電力の二酸化炭素排出係数は、2019年度中部電力の調整後排出係数（0.426kg-CO₂/kWh）を使用。
- ・グリーン購入は数値目標をせずに事務用品はエコマーク商品を優先購入する。

* ・2024年度以降は2022年、2023年、2024年の実績をベースに策定する。

5 環境経営計画

取組項目		
電力使用量の削減	担当	計画
1 生産効率の向上 ・ 製品加工サイクルタイムの短縮・歩留まり向上	杉浦 健次	年度初めに、数値目標と取組項目を確認。 実績値は毎月確認、前年同月との比較を実施。 6か月ごとに取組実績を確認し必要があれば対応する。
2 冷暖房電力の低減 ・ エアコンの基準温度を設定し、運転管理をする ・ エアコンのフィルター清掃、清掃間隔を設定し実施 ・ 断熱フィルム、日よけターフによる熱遮断 ・ 扇風機を設置し温度分布を平均化する	竹内 則枝 磯貝 和博	
3 照明電力の低減 ・ 蛍光灯キャノピスイッチを取付け個別に消灯可能にする ・ 照明器具をLEDもしくは省エネタイプのものに交換していく ・ 休み時間の消灯の徹底 ・ 非稼働エリアの消灯を徹底する	長田 英明	
ガンリン使用量の削減 ・ 社有車のエコドライブを実践する。		
廃棄物排出量の削減		
1 生産現場の5S改善活動展開による不良品の削減 2 使用済み砥石・ドレス砥石の分別廃棄の徹底 3 金属類の分別回収による資源化 4 その他の廃棄物の分別廃棄の徹底 5 ろ過機ろ布の寿命の延長 6 通い箱、梱包資材のリサイクル使用 7 マニフェストをもとに廃棄物の適正な処理を確認	長田 英明	年度初めに、数値目標と取組項目を確認。 実績値は毎月確認、前年同月との比較を実施。 6か月ごとに取組実績を確認し必要があれば対応する。
水使用量の削減		
1 ろ過設備によるクロロ化維持・管理 2 節水呼びかけ 3 水道配管からの漏水の点検	杉浦 健次	年度初めに、数値目標と取組項目を確認。 実績値は毎月確認、前年同月との比較を実施。 6か月ごとに取組実績を確認し必要があれば対応する。
環境配慮型商品の販売		
1 再研磨品質（技術）の向上 2 再研磨工具の生産 3 再研磨商品の受託・販売・普及	長田 康弘	年度初めに、数値目標と取組項目を確認。 実績値は毎月確認、前年同月との比較を実施。 6か月ごとに取組実績を確認し必要があれば対応する。
5S活動の推進		
1 整理 第一ステップ：いらぬものは捨てる 2 整頓 第二ステップ：何時でも直ぐ使える 3 清掃 第三ステップ：つねに掃除をし、きれいにする 4 清潔 第四ステップ：3Sを維持する 5 躰 第五ステップ：決められたことを、いつも正しく守る	長田 康弘 長田 英明	年度初めに、取組項目を確認。 6か月ごとに取組実績を確認し必要があれば対応する。
化学物質使用量削減		
1 研削液のSDS入手・取扱管理 2 切削油、潤滑油のSDS入手・取扱管理 3 濾過水質のPH、濃度管理	長田 英明	年度初めに、取組項目を確認。 6か月後に取組実績を確認し必要があれば対応する。
グリーン購入		
1 事務用品はエコマーク商品を優先して購入する	榑原厚江・長田亜弓	同上

6 環境経営目標に対する実績・結果

取り組み項目	単位	基準年度	2023年度	2024年度		
		過去3年平均	前年実績	目標	実績	評価 ○△×
総CO2排出量	kg-CO ₂	402,086	391,021	421,748	391,934	○
	kg-CO ₂ /千個	141	133	137	176	×
エネルギー使用量						
電力	kWh	919,386	914,292	929,352	916,658	○
ガソリン	ℓ	1,128	660	725	619	○
産業廃棄物排出量						
廃油	kg	9,268	21,130	17,285	19,800	×
水使用量						
上水	m ³	1,048	1,142	1,126	1,089	○
化学物質使用量						
モレスコツールメイトドラRG (切削油)	kg	2,600	1,800	実績値の記録と 管理	1,600	—
シェルテラス S2M32 (潤滑油)	kg	600	200		200	—
再研磨品	社数	3	3	5	3	△

・電力の二酸化炭素排出係数は、2019年度中部電力の調整後排出係数（0426kg-CO₂/kWh）を使用。

7 環境経営計画の結果と評価、並びに次年度の取組計画

取組項目		実施状況 ○△×	取組結果と評価、今後の取組
二酸化炭素排出量	<ul style="list-style-type: none"> 加工のサイクルタイム短縮・歩留まり向上 エアコンの基準温度の設定し運転管理をする エアコンフィルター清掃 デマンド装置のチェック 断熱フィルム・日よけターフによる熱遮断 扇風機による温度分布の平均化 休み時間の照明器具の消灯を徹底する 非稼働エリアの消灯を徹底する キャノピースイッチで個別に消灯可能にする エコドライブの実践 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ○ △ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 	<p>結果：排出量は達成、千個当たりは未達成</p> <p>評価：取引先の経営方針の都合により生産数が4月～8月まで減少して機械稼働率が低下したこともあり目標を達成できました。</p> <p>今後：製品加工のサイクルタイム短縮、歩留まり向上を目指してムダの排除に努めます。</p>
廃棄物排出量	<ul style="list-style-type: none"> 5S改善活動展開による不良品の削減 使用済み砥石の分別廃棄の徹底 金属類の分別回収による資源化 その他の廃棄物の分別廃棄の徹底 ろ過機ろ布の寿命の延長 通い箱、梱包資材のリサイクル使用 マニフェストをもとに廃棄物の処理を確認 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 	<p>結果：排出量は増加</p> <p>評価：5S活動の展開による廃棄物の分別、削減が徹底されています。5S改善活動を継続して取り組んできました成果ができませんでした。</p> <p>今後：5S活動の継続と資源を有効活用する為、3Rの活動に力を入れてきます。</p> <p>数値目標としている廃油の実績値はほぼ同じ程度です。生産量は不透明であるが、引き続き注視していく。</p>
節水	<ul style="list-style-type: none"> ろ過設備によるクローズ化維持、管理 節水の呼びかけ 水道配管からの漏水の点検 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ○ ○ 	<p>結果：達成</p> <p>評価：機械稼働率は4月～8月までは減少し、水使用量が減少傾向でしたが9月以降機械稼働率が戻り、年間通しては少し増加した。</p> <p>今後：ろ過設備の点検、管理を徹底し手洗い場やトイレの節水についても継続して活動をする。</p>
化学物質	<ul style="list-style-type: none"> 研削液のSDS入手、取り扱い管理 切削油、潤滑油のSDS入手、取扱管理 濾過水質のPH、濃度管理 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ○ ○ 	<p>結果：使用量は昨年度からやや減少</p> <p>評価：生産量は4月～8月まで減少でしたので、引き続き、切削油、潤滑油の使用量は機械からの油漏れの対策を実施を併せて使用量はやや減少でした。</p>
グリーン購入	<ul style="list-style-type: none"> エコマーク商品を優先して購入する 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 	<p>評価：2016年度より維持活動にしました。良好な状態を維持できています。</p>
配慮	<ul style="list-style-type: none"> 再研磨商品の受託・販売・普及 	<ul style="list-style-type: none"> △ 	<p>結果：未達成</p> <p>評価：今後、受託、販売、普及に継続して力をいれていく。</p>

7-2 次年度以降の環境経営目標

取り組み項目	単位	基準年度	年度目標*		
		過去3年平均	2025	2026	2027
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	378,668	1%削減	2%削減	3%削減
			374,881	371,095	367,308
	kg-CO ₂ /千個	153	1%削減	2%削減	3%削減
			151	150	148
電力使用量の削減	kWh	916,982	1%削減	2%削減	3%削減
			907,812	898,642	889,473
ガソリン使用量の削減	ℓ	658	1%削減	2%削減	3%削減
			651	645	638
産業廃棄物の削減（廃油）	kg	19,793	1%削減	2%削減	3%削減
			19,595	19,397	19,199
水使用量の削減	m ³	1,117	1%削減	2%削減	3%削減
			1,106	1,095	1,083
化学物質使用量の削減 （PRTR対象物質無し）	（切削液）	2,400	実績数値を記録し管理する		
	（潤滑油）	200			
再研磨品	社数	3	4	5	6

- ・電力の二酸化炭素排出係数は、2023年度中部電力の調整後排出係数（0.421kg-CO₂/kWh）を使用。
- ・グリーン購入は数値目標をせずに事務用品はエコマーク商品を優先購入する。

8 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無

順守状況確認 2025年3月31日 長田英明

区分	関連法規制等		条項の内容と確認事項	適合状況
	法規制名	条項		
廃棄物	廃棄物処理法	第12条5	廃棄物の処理委託事業者との契約の締結 ※契約終了後5年間保存（施行規則第8条の4の3）	○
		施行規則第8条の4	契約書の区分に応じ、許可証、再生利用認定書、広域処理認定書等の写しを添付	○
		県条例	廃棄物処理委託事業者の現地確認（年1回）	○
		第12条3	廃棄物の処理を委託する場合のマニフェスト伝票の発行と管理	○
		第12条3-6	毎年6月30日までに前年度に交付したマニフェスト伝票の交付状況を県に報告する（産業廃棄物管理票交付状況報告書、様式3）	○
	家電リサイクル法	第6条	テレビ、エアコン、電気冷蔵庫、電気洗濯機の廃棄物の排出時、収集・運搬または再商品化等をする者に引き渡し、必要な料金を支払う。	○
騒音・振動	騒音規制法 振動規制法	第6条	騒音・振動公害防止の手引き 工場・事業場編（碧南市環境課環境保全係） ・環境保全計画書・公害防止に関する協定書（碧南市） ・特定施設の届出	○
水	浄化槽法	第11条	浄化槽保守点検。 定期水質検査（第11条）	○
消防	消防法	市条例など	・少量危険物の貯蔵・取り扱い＝指定数量（第1石油類・ガソリンなど200L、第2石油類・軽油・灯油など1000L、第3石油類・重油など2000L、第4石油類・シリンダー油など4000L）の1/5未満～指定数量の保管に際しての届出と貯蔵所の管理（市の消防署へ届出）。 ・電気・ガスによる溶接作業における火気使用に関する規定。	○
化学	PRTR法（化管法）	第4条5条	切削液、潤滑油などのSDSの入手とPRTR物質の確認。	○
フロン	フロン排出抑制法	第16条	空調機、コンプレッサーなどの室外機のフロン漏洩に関する簡易点検（3ヵ月に1回以上）、定期点検（7.5kw～50kw未満の空調機器：3年に1回以上）の実施と記録	○
その他	臨海号地別公害防止協定		臨海に進出する企業と「公害防止に関する協定」を締結し、環境の保全と公害の未然防止に努める。（碧南市環境課環境保全係）	○

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。なお、関係当局よりの違反等の指摘は、ありませんでした。

9 代表者による全体の評価と見直し・指示

項目		必要に応じて評価・コメント		
見直し 関連情報	1	環境経営目標の達成状況	8月まで生産量減少で電力、水使用量はほぼ横ばい、廃油はまとめて廃棄致しました。	
	2	環境経営計画の結果と評価	廃油実績、再研磨商品の受託・販売・普及は未達成でした。	
	3	環境経営計画の次年度の取組計画	今年度同様の取組みを継続します。	
	4	次年度以降の環境経営目標	2025年度以降は2022年、2023年、2024年の実績をベースに策定する。	
	5	環境関連法規などの遵守状況	順守しています。	
	6	外部からの環境に関する苦情や要望	主要取引先へ環境取組みアンケートを提出致しました。	
	7	問題点の是正・予防処置の実施状況	特にありませんでした。	
	8	その他	特になし。	
(総括)				
<ul style="list-style-type: none"> ・目標は、廃油実績及び再研磨品以外は、ほぼ達成できたと評価致します。 ・また5S活動の展開により、業務の効率化や不良率の削減などにもつながっています。 ・実施体制については有効に機能しており、継続します。 				
代表者による 全体評価・ 見直し 指示	見直し項目		変更の 必要性	「有」の場合の指示事項
	1	環境経営方針	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	
	2	環境経営目標	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	
	3	環境経営計画	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	
	4	環境に関する実施体制	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	
	5	その他	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	
(総評)				
<p>現在も世界情勢の不安定が増している中、社会環境を含め環境を取り巻く自然環境は益々厳しい状態になっています。個人、法人を問わずエコ活動に参加することは大変重要であり、また義務でもあると考えます。エコアクション21での環境活動に取り組んでいくうえで、従業員全員が環境への意識が高まり少しずつではあるが、身近な活動の継続で改善効果がみられるようになってきました。今後も全社員一丸となって、環境負荷の削減に努めていきます。物価高等で経営に負荷はかかりますが環境と生産活動での利益のバランスがとれる企業を目指したいと思います。</p>				
<p>2025年3月31日 株式会社オサダツール 代表取締役社長 長田康弘</p>				

株式会社オサダツール

本社 〒447-0844 愛知県碧南市港本町4番地36
TEL(0566)41-8728 FAX(0566)42-9169